

天主閣

だより



マキキ聖城キリスト教会

「変化の中から見える本物」

清水 撰 宣教師

「ジリジリジリ……」

私は、ハワイに十五歳の時に家族と共に大阪から引越してきた。英語はもちろんディス・イズ・ア・ペン、程度。ハワイに来た数日後、一人でワシントン中学校に行った初日のことだった。英語の実力テストを受けさせられていた私は、教室に監督をしてくれている先生と二人きりでいた。その時、突然鳴り響く非常ベル。びつくりして顔を上げ、教室の外を見ると、そこには走り逃げ回る生徒で廊下がごった返していた。

「火事だ！」とつさに状況を察知することが出来た私は早く逃げなくてはと焦る。しかし、英語で「火事」って何ていうのだろうか？「火」は「ファイヤー」だけ「事」って何？「シング(Hing)？」そんなことを考えながら、もたもたしていたら逃げ遅れる！と気持ちは焦る。脳裏には明日の新聞の一面記事のタイトルが浮かぶ。「かわいそな留学生。英語がわからなかったため逃げ遅れる。」悠長なことは言ってはられない。何でもいい！ジェスチャーゲームで外に出ていいかと先生に聞き、いいと言われた(おそらく)ので走って外にいる他の生徒達の流れに交じる。完全にパニックしている私は、そこにいる生徒を捕まえては日本語で聞く。「今、非常ベルが鳴ってみんな逃げているけど、どこにどう逃げればいいのか？どうすればいいの？」「キョトン」とする生徒たち。しかし、そ

の中に日本語を話す生徒を知っている人がいて、日本語を話すことのできる生徒を連れてきてくれた。半分泣きべそをかきながら私が同じことを聞くと、その生徒は、「火事？」と私に聞く。「うん。今、非常ベル鳴ったでしょ？どうしたらいいの？」「あー、あのベル。非常ベルじゃないよ。今は休憩時間。」……「絶句の私。」

その時「キンコンカンコン」の終業ベルが普通だと思っていたが、ハワイの普通は非常ベルなんだ、私の普通はハワイでは通用しないんだ……ということに気付かされた。

皆さんの中にも、ハワイに引越してきて、あるいは異国に行ったり異文化を体験したりする中で様々な「カルチャーショック」を体験されたことがあるのではないだろうか？「カルチャーショック」は、2つの文化がぶつかる時に起こる現象だ。そして、少なからずとも、そこで自分の今まで知っていた「普通」を客観的に見る機会になり、自分の「当たり前」が新しい環境では今までのように通用しないという体験をする。

そんな時、私を感じるのには「世界は広い」ということ、そして、それでは一体何が正しいのだろうか？ということだ。その場所で通用しても別のところでは通用しない……それは本当の意味で正しいことと言えるのだろうか？

そう考え始めると、異文化はもちろん、個人差にも考えが及ぶ。善悪に関しても状況や人によってその理解に個人差がある。私たちは、本当の意味で客観的に物事を理解し、判断できる基準を私たちの内には持っていないということが分かる。では、この世界に正しいもの、不変なもの、永遠のものは存在するのだろうか？

存在する。私たちの内にはないが、私たちが愛し、造り、導いてくださっている神様こそが不変であり、永遠のお方だ。聖書に「こういう言葉がある。

「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつでも、同じです。」(ヘブル十三章八節)

本当に変化しないものは、人の中にはない。それは、私たち自身が有限な存在だから。私たちが自身に変化するものだから。しかし、私たちが愛し、造り、導いて下さる唯一の神様であるイエス様は、永遠に同じであるばかりか、私たちがその永遠の変わらない愛で愛してくださり、導いてくださっている。

変化の中で翻弄される時、私たちに見えてくるものは「世界が広い」ということと、変わることにない「大きなイエス様の存在」。

このイエス様の愛と祝福が今日もあなたの上に豊かに注がれているのだ。



テリーさんの簡単クッキング しめ鯖の作り方

- ① 鯖の頭を切り落とし、腹を切りワタを取り出し、血がたまりを取り、きれいに洗う。
- ② 頭の切り口から中骨の上に包丁を入れ、尾まで切りおろし上の身を離し、同様に下身も離す。これが3枚おろし。
- ③ さばの両面に塩を振り、20分から30分おく。酢水でさっと洗い、昆布を加えた酢で1-2度漬して30分しめる。表面が白くなる程度が良い。
- ④ さばの酢をきり、血合いの小骨を指でさがしながら、骨抜きとる。頭のほうに、斜めに引っ張る。身が割れるので
- ⑤ 頭の切り口から皮をぬく。皮側を上にして、3ミリか4ミリ幅で浅く包丁目を入れならべる。

<しめ鯖のぬた>

しめ鯖を細切りにし、もどしたワカメや、ゆてた青ネギなどを酢味噌と和える。

酢味噌の作り方: 赤味噌大さじ3、砂糖大さじ2、酢大さじ1 1/2

<ごまさばの作り方>

ネギは小口切り、しょうが1かけをすりおろし、しょうゆ1/2カップ、酒大さじ3と、ゴマ大さじ4を混ぜ、さばを入れ、ネギを入れ、一時間以上漬けておく。



今月の言葉

財産よりもっと尊いのは「明るい性格」だ。人間の心も体と同じだ。

日陰にいたるのではなく、日光の照る場所に移るべきだ。

困ったことがあっても、笑いで吹っ飛ばしてしまおう。さあ、日の当たる場所にようではないか！

(アンドリュー・カーネギー)



今月の証

「群れの育成部カウンスルになって①」

三田村 真理子

この度、マキキ教会のカウンスルメンバーとしてご奉仕させていただくことになりました。今までも何度か推薦をいただいていたのですが、一歩踏み出す勇気がなく、私など器ではないと、自分自身、逃げていた部分がありました。

現実には、公私ともに忙しく、また目の前には数々の悩みや問題も抱えていて、その上、子供の進学や、日本に居る親の事：などで手一杯だと自分で決めていました。

しかし、周りの皆さんが口を揃えて言ってくれたことは、「お手伝いするから」「支えていくから」「祈っているから」でした。なんと心強い言葉でしょう。そして、祈りの中で気づかされました。私には出来ないかもしれないと思っていることも主が私を選んでくださったなら大丈夫。主が必ずその時その時に助け手を与えてくださる。そう……今までだつてそうだったように……

そう思うと一歩踏み出す勇気が湧いてきました。そして、主に「こう告白し祈りました。

「神様、私の今の悩みをどうか受け止め、私自身を変えてください。喜んで引き受けます。ですから私が喜びをもってご奉仕できる環境と体に変えてください」と……

そして主は、共に祈り合い、助け合う姉妹を与えて下さいました。寛子姉妹です。今までは、妹のような存在。今度は主の為、共に仕え、力を出し合うものとして与えて下さいました。

そして今、群れの育成部としてスタートしています。現実には、今の私たち二人の生活は大忙しです。それでも共に、力を出し合うことが出来る賜物を頂いていると信じています。

群れの育成部は、今、難題を沢山抱えています。毎週の礼拝後の愛餐会ランチ一つをとってもそうです。料理を作る人、サーブする人、配膳する人、会計をする人、司会する人、後片付けをする人、洗い物をする人、ごみを集め捨てる人、部屋の掃除をし窓閉めまで……沢山の奉仕者が必要です。どうか、手を貸してください……。

新しい牧師先生が決まり、これからのマキキ教会の新しいスタートに、群れの育成部も教会の歯車の一部として進んでいけるようお祈りください。また、部員を励ましてください。どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。

「食べるにも、飲むにも、何をすることも

ただ、神の栄光を現すためにしなさい」

(第一コリント十章三一節)

「群れの育成部カウンスルになって②」

飯島 寛子

今年から新しく、また初めてカウンスルメンバーとしてご奉仕させていただくことになりました。神さまを賛美します。

最初、選考委員の方からカウンスル推薦のお話をいただいた時、「私にはできません」という気持ちで素直にお受けできませんでした。「二つの仕事を抱えて日々の生活に目まぐるしく追われているため、とても余裕などありません……このように私に声がかかるなんて信じられない……」というのが正直な思いでした。

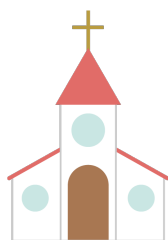
「人をリードする能力のない自分はいつとも逃げればかりです。自分の力だけではとてもできません。神さまの助けがなくては何もできません」と選考委員の方と涙ながらに祈りました。そのような

時に、ある姉妹にカウンスルの候補に名前があがっていることは神さまからの働きかけなのよと言われました。そして、聖霊の働きが私の内にありたいへんな状況の今だからこそ神さまが特別に選んでくださったのだと思えるようになりました。神さまは共にいて助けてくださる、というお約束をいただいで、お受けすることとなりました。

群れの育成部としてご奉仕させていただきます。この部会の主な担当は愛餐会です。愛餐会の奉仕者が減少して困っている状況でのスタートです。担当の三田村姉妹と共に祈りながら、伝統を守りつつ、同時に柔軟に変えながら、そして新しくお迎えする牧師先生と神さまの導きをいただいで、励んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

群れの育成部ってなに？

日々の生活に、生きて働いておられる神様を、経験し、すべての方が賜物を生かして用いられるよう育成し、「キリストの体」作り、育てることを目的として活動します。そのために、ミニチャーチ、愛餐会、などのお世話をさせていただきます。



今後の予定

三月

☆十一日(日)

ゲストスピーカー 高瀬真理音楽宣教師
心に光を支援者大会 午後二時半より

☆ 十八日(日)

ゲストスピーカー 高瀬真理音楽宣教師
ソフト・ボール 午後二時半より

☆ 二十五日(日)

ゲストスピーカー
グレン・フェリーイー兄&松木路子姉

☆二〇日から三〇日

土佐塾中学&清和女子学園 来布
☆二〇日から二二日
スプリング・キャンプ

☆四月一日 午後二時より

ヤングジェネレーション・フェローシップ

編集後記

ワヒアワの桜が間もなく開花します。この桜は緋寒桜といって、元々は台湾産で、その後沖縄にいき、ハワイにまで株分けされたという説があります。どのような経緯で運ばれて来たかは定かではありませんが、長い時をかけて生き続けている木の根は、先人たちの信仰にも通じます。イスラエルから届いた福音が、株分けされて、世界中に広がることを祈りながら、お花見をしたいと思えます。

玉寄 朋子

マキキ聖城キリスト教会 宣教部
編集 玉寄朋子
イラスト、レイアウト 大塩麻由